

高潮への備えをしましょう

広島県ではこれまで、県沿岸部において、過去に襲来し大きな被害をもたらした台風を基本とした高潮浸水想定区域図(2パターン)を平成20年に、公表しております。

- ・**既往最高潮位※1 + 30年確率風速による波浪※2**
- ・**伊勢湾台風(規模) + ルース台風(経路) [広島港域のみ]**

※1 既往最高潮位: 観測上最も高い潮位
※2 30年確率風速による波浪: 30年間で1回起こり得る最大風速で発生した波浪

この度、令和3年8月に**想定し得る最大規模の台風による高潮浸水想定区域図**を公表しました。

想定し得る最大規模の台風について
(我が国における既往最大規模の台風を基準としています。)

- ① **台風の中心気圧910hPa**
⇒ 室戸台風規模(我が国既往最大中心気圧)
- ② **台風の最大旋衝風速半径75km・台風の移動速度73km/h**
⇒ 伊勢湾台風規模(我が国既往最大旋衝風速半径および速度)
- ③ **潮位偏差が最大となる台風経路を設定**
⇒ 過去襲来した台風コースを基本として、シミュレーション
- ④ **大潮かつ満潮時に台風が襲来した場合を想定**
- ⑤ **高潮と同時に河川の洪水を考慮**
⇒ 洪水時に相当な流量が想定される河川において、実施
- ⑥ **全ての堤防や水門等は、設計条件を超えた段階で破壊想定**

※上記の最悪な条件を重ね合わせるにより、シミュレーションを実施しています。台風襲来のタイミングによって、浸水リスクも変化しますので台風情報等を確認し、危険を感じたら早めに避難をすることが大変重要です。

以下のURLから高潮浸水想定区域図等を確認いただけます。

・**県ホームページ**

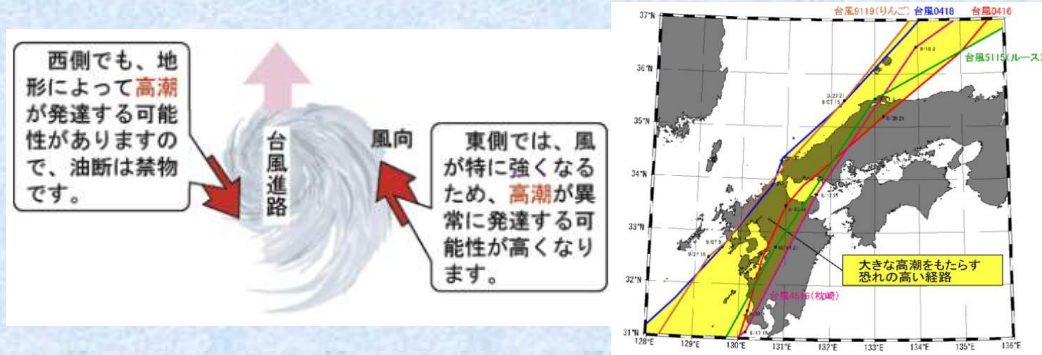
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/103/souteisaidaitakashio.html>

・**高潮・津波災害ポータルひろしま**

<https://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx>

○広島県に大きな高潮被害をもたらす台風のポイント

① **台風が広島県の西側を通ると、海からの風が強くなるため、特に高潮が発生する危険性が高くなります。**



② **台風襲来が潮位の高い時期(大潮)・時間帯(満潮)に重なり合うことで、特に高潮による浸水被害が大きくなります。**

○台風が来るまでにしておくこと

① **台風進路や潮位、満潮時間を台風が接近する2~3日前からテレビやインターネットを活用して情報収集しましょう。**



② **台風は地震と違い、襲来のタイミングを把握することが可能です。早い段階で家の外・中の備えをしましょう。**

- ・ 窓や雨戸はしっかり鍵をかけ、必要なら外から棧を打ち付けて補強
- ・ 水はけを良くするため、側溝や排水口は掃除
- ・ 懐中電灯や携帯ラジオ、非常用食品等を事前に準備・確認
- ・ 窓ガラスが割れ、散乱を防ぐため、雨戸を下ろしたり、カーテンを閉める
- ・ 水に浸かると困るものは、できるだけ高いところへ移動

お問い合わせはこちら⇒広島県庁土木建築局港湾漁港整備課海岸防災G(082-228-0976)